



海外生活
レポート

22



【フランス共和国】
FRANCE

リールの街並み



北フランス・リールで キャンパスライフ!



レポーター **鈴木 美都**さん
●フランス・リール在住

2014年8月、フランス人のパートナーと新生活を始めるため、北フランス最大の都市リールへやってきました!リールは人口約23万人で、パリ北駅からTGV(※)で1時間という立地にあります。多くの学生がここリールで学んでいます。そして私もその一人。フランスに住むからにはフランス語が必須なので、9月からUniversite Charles de Gaulle-Lille 3 (リール第3大学DEFI)へ通っています。

まずはフランス語習得!

私が所属しているのは、DEFI (Département Enseignement du Français à l'international) といって、フランス語を習得する外国人のための大学附属の語学学校です。

といってもやはり大学。授業もアカデミックで、月曜から金曜まで週に約17時間。入学時にレベル分けの筆記と口頭試験があり、6つのレベルに分けられます。私はA2という中級に上がる前の初級クラス。クラスメイトは国際色豊かで、アジア圏はもちろん、

南米やロシア、中東からいろいろな国からフランス語を学びに来ています。授業はもちろんフランス語のみ。日本でも少しフランス語を勉強していましたが、本格的に勉強するのは今回が初めてで、最初は授業についていくのが大変でした。でも、クラスメイトが同じ目的をもって勉強しているのでモチベーションは高く、今はわからないところを教えあうなど、いい環境で勉強できていると感じます。

大学内のサービスを活用

大学附属なので、もちろん大学内の施設やサービスは利用できます。クラブ活動や、図書館はもちろんですが、リール第3大学には映画館があるんですよ。一般の映画館よりかなり格安で話題の映画を鑑賞できます。

また、学生のみが利用できる大学のインターネットのサイトには、いろんなアクティビティ(活動)があり、私もこちらを利用し

て、大学で日本語を学んでいるベルギー人(フランス語が母国語)の女子生徒と「タンデム」というものをしています。「タンデム」とは「言語交換」といいますが、私はフランス語を話す相手を探し、相手は日本語や英語などを話す相手を探し、お互いが語学向上のために話す時間をもつというものです。大学側が学生同士のマッチングを管理しているので、トラブルも少ないようです。

と、このような感じでキャンパスライフを満喫しています。

異国に住むと日本の良さがよくみえてきます。フランスでの新しい出会いや文化の違いで戸惑うこともあります。日本の心を忘れずにフランス生活を送りたいと思います。



フランス共和国
面積:54万4,000km²
人口:約6,582万人(2014年)
首都:パリ



▲大学の同級生と



▲大学構内の様子

※TGV:フランス国鉄が運行する高速鉄道の車両。発音はテジェヴェ(フランス語)。